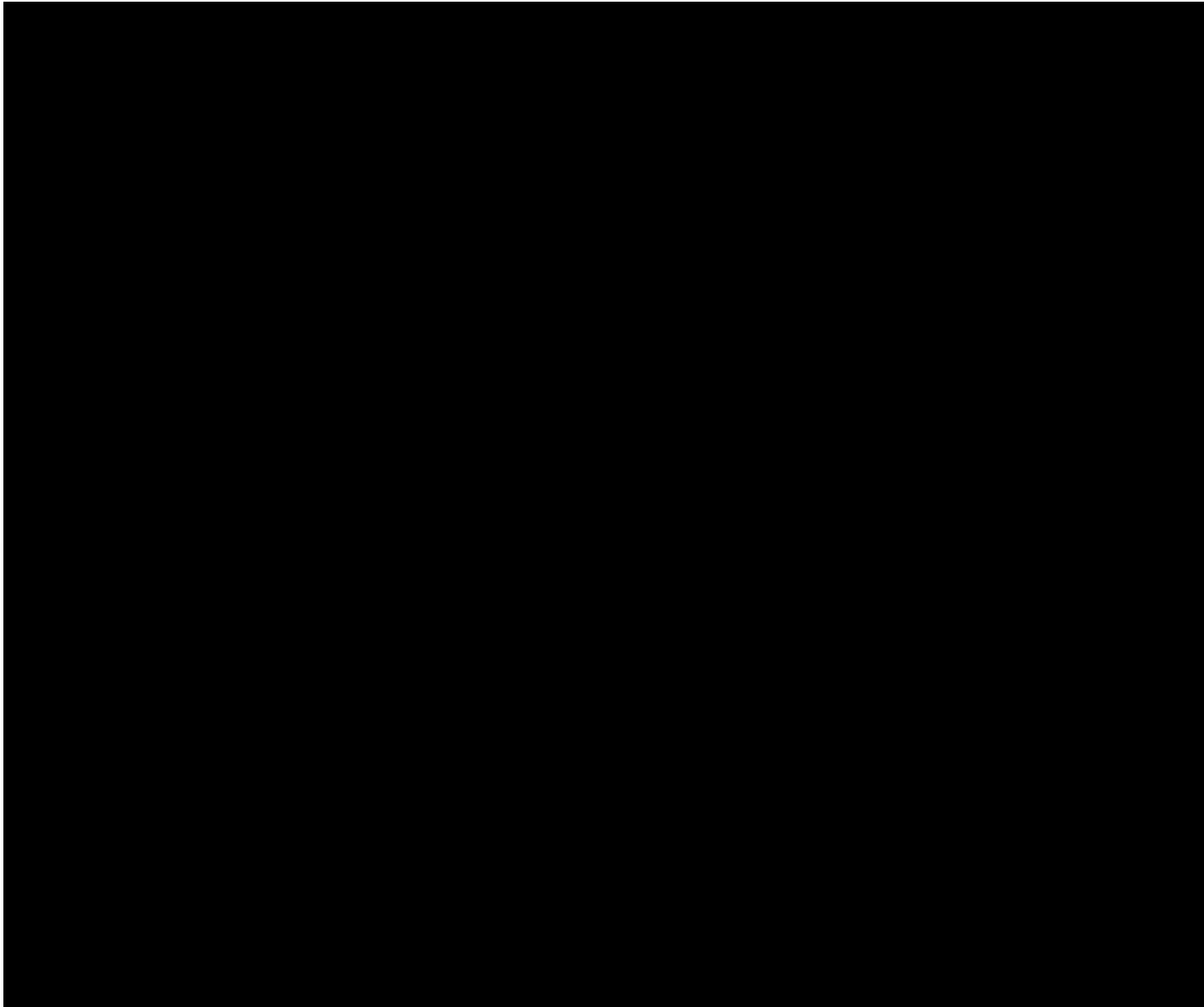


令和七年度 沖縄県立芸術大学音楽学部 編入学試験

科目名：小論文 専攻名：コース：音楽文化専攻 沖縄文化コース・音楽学コース



出典：『朝日新聞』二〇二四年八月二十九日夕刊 二面

問 右記の新聞記事を読んで、古典芸能の大衆化とその意義及び課題について、一、二〇〇字程度で論じなさい。

令和7年度 沖縄県立芸術大学音楽学部 編入学試験
小論文（音楽文化専攻 沖縄文化コース・音楽学コース）

1. 出題の意図

課題文は、「次世代へ『文楽』異色のコラボ×漫画『ワンピース』一作者地元・熊本 文化で震災復興を一×ゲーム会社『カプコン』 前日譚を映像化 『見に行こう』となれば」（2024年8月29日『朝日新聞』夕刊2面）から出題した。内容は、近年、文楽がアニメやゲームとコラボレーションし、若い世代の関心を喚起した二つの事例を紹介した上で、伝統芸能の継承と上演における集客の両立の難しさや課題を提示した記事である。

本出題は、伝統芸能を普及させる意義および課題について受験者自身の考えを述べさせることで、伝統芸能に対する理解や、伝統芸能の継承をめぐる諸課題をどのように捉え、考察しているか、さらにその考えを他者に対して的確に伝える力を問うものである。

2. 評価の観点

- ・ 課題文に対する理解
- ・ 音楽や舞踊に対する知識・理解、関心・問題意識
- ・ 論理性、思考力
- ・ 独創性、発想力
- ・ 文章構成力・表現力（誤字脱字や文章の技術等も含む）